

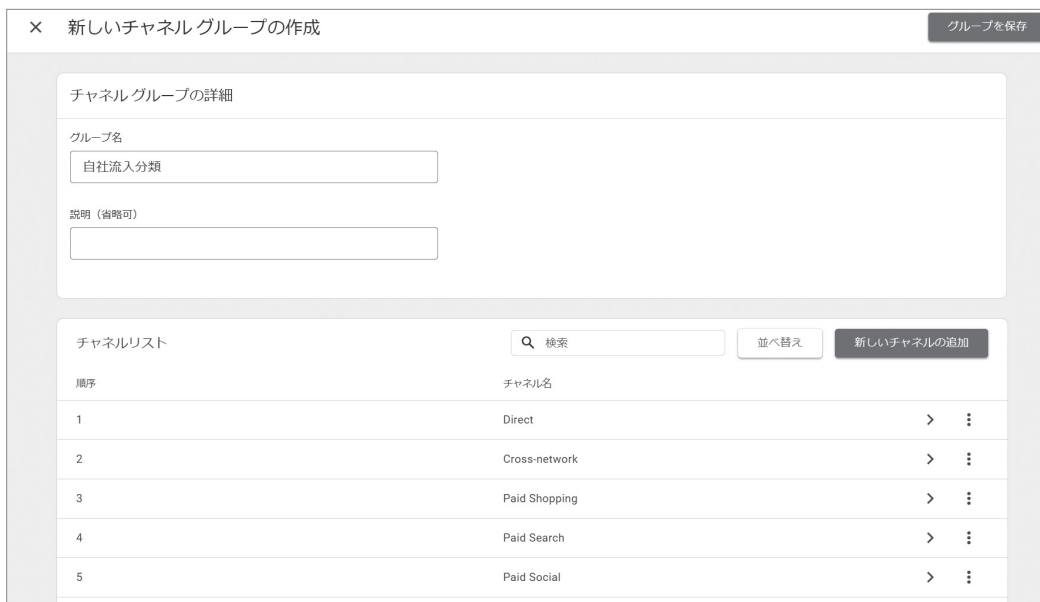
## チャンネルグループ

ウェブサイトへの流入元の分類はGoogleが最初から用意しているので、トラフィックのレポートなどで確認できますが、「チャンネルグループ」として独自に分類を作成することもできます。

チャンネルグループのメニュー内から「新しいチャンネルグループの作成」を選択します。



「新しいチャンネルグループの作成」画面が表示されます。



まずはグループ名を決めましょう。その後に、既存のチャンネルリストが表示されるので、「新しいチャンネルの追加」や既存のチャンネルに対して「コピーして新規作成」または「チャンネルを削除」を選択します。



新しいチャンネルの作成画面は以下の通りで、チャンネルの条件を設定できます。  
分類として使える流入元は、以下の項目のみとなります。

- デフォルトチャンネルグループ
- メディア
- 参照元
- 参照元プラットフォーム
- キャンペーンID
- キャンペーン名

これらを活用して、条件を設定しましょう。以下は設定例です。

### チャンネルグループの詳細

チャンネル名

Twitter流入

チャンネルの条件  
カスタム チャンネルを定義する条件を追加します

このグループの少なくとも1つのルールに一致 🗑️

参照元 ▼	含む twitter.com ✕	✕
OR		
参照元 ▼	含む t.co ✕	また ✕
		は

作成したチャンネルは、並び替えなどを行うこともできます。複数のチャンネル条件を満たす場合は、より上位の流入元に分類される形になります。

作成したチャンネルは、レポートや探索で利用することができます。

トラフィック獲得: セッションのデフォルトチャンネルグループ

● 直接流入 ● 自然検索 ● 他サイト ● 有料検索 ● 自社ソーシャル

検索...

1 ページあたりの行数: 10

検索 [アイテムを検索]

検索結果	セッションのデフォルトチャンネルグループ	セッション「新チャンネル」	セッションの参照元 / メディア	セッションのメディア	セッションの参照元	セッションの参照元プラットフォーム	セッションのキャンペーン
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7	ソーシャル外部流入						

作成されたディメンションに関しては、設定したタイミングからではなく過去のデータにも反映されますが、Looker StudioやBigQueryでは利用することができません。